

[トップページ](#) > [分類ですがす](#) > [しごとの情報](#) > [産業](#) > [商工業](#) > 丹波市内企業景況調査

丹波市内企業景況調査

[通常ページへ戻る](#) 掲載日：2018年11月29日更新

目的

市及び商工会等が中小企業の景況を把握し、中小企業施策立案の基礎資料を収集するために、四半期毎に「丹波市内企業景況調査」を実施し、集計・公表しています。

調査対象者

- 丹波市商工会員の内、従業者0人、65歳以上で後継者のない企業を除く300企業

調査の実施

- 4月、7月、10月、1月の年4回実施（調査時点前3ヶ月間の景況調査）

調査方法

- 丹波市商工会による郵送配布、訪問回収

公表資料

- 第23回景況調査結果より、公表の様式を変更しております。

建設業

回答率:81.5%(53/65)

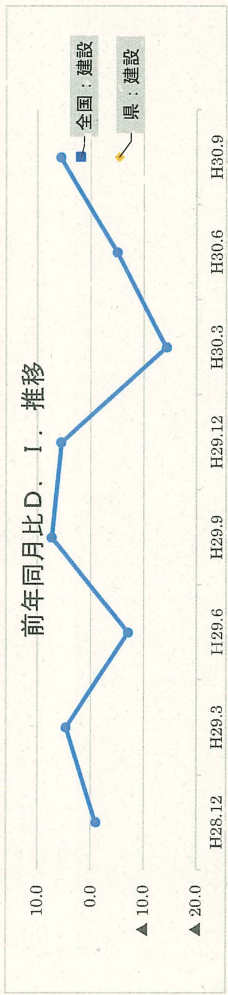


今期

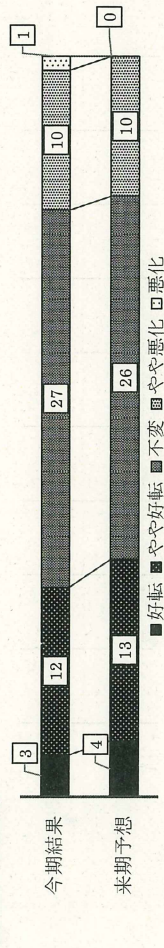
見通し

■丹波市の景況推移

受注は、前年同期比同様に順調に伸びている。見積もり時点から急激に原油・鉄などの原材料が高騰しない限り、利益は確保できている。消費税増税前の工事発注も出てきている。



■丹波市の景況動向



【今期の景況】

8月の公共工事動向調査によると、丹波市内の請負金額は前年同月比200%増加した。要因としては、猛暑の影響により、丹波市内の学校にエアコンが導入されたことが大きく影響を与えている。しかし、年々競争が激しくなり、落し辛い状況が続いている。台風の影響で小さい修繕が増えたが儲けが少ない。

【来期の景況予想】

公共工事の数はあるものの、競争の激化により、今後も落札は厳しい状態が続くと予想される。民間工事関連も件数としては順調に推移している。低価格でも高品質で特徴のある住宅を求める消費者が増え、相見積もりに勝てる独自性と営業力が求められる。なお、他社が扱っていない商品を含め、展開している事業所もある。

■全国の景況動向

西日本豪雨災害による被害復旧工事や、猛暑により学校関連のエアコン設置要望が増加した。また、マンション・オフィスビルの大規模修繕は相変わらず順調であった。しかし、工事案件があっても人手不足で対応できない状況が続いていることや、最低賃金の改定で、人件費上昇による企業収益の悪化が懸念される。

■県下の景況動向

道路工事や公共施設の耐震工事など長期にわたる公共工事等により建設業の経済活動は活発化をみせている。住宅着工数の伸び悩みが強く、民間工事は依然として低調であり停滞している。一方で猛暑の影響からエアコン需要が増大し、電気工事では取付工事で忙しくなった。

■地区ごとの回答(前年同期比)

地区	柏原	水上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い	0	4	3	5	3	1	16	30.2%
不変	2	11	1	4	2	4	24	45.3%
悪い	1	3	2	3	1	3	13	24.5%
合計	3	18	6	12	6	8	53	100.0%

製造業

回答率:96.2%(51/53)

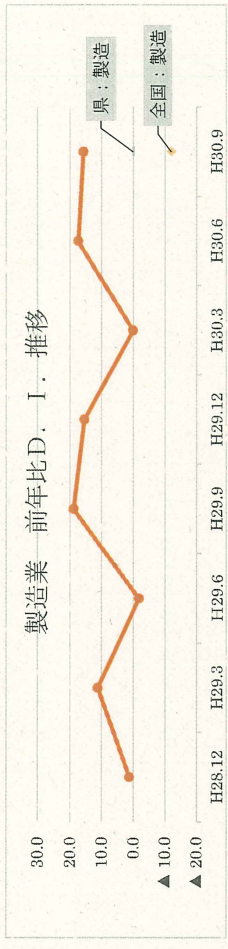


今期

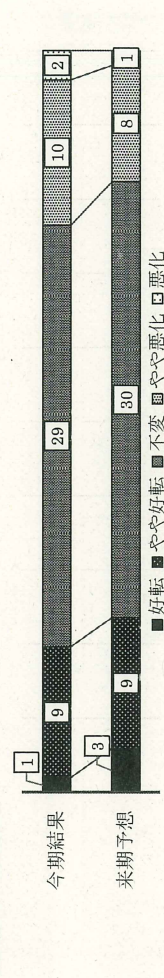
見通し

■丹波市の景況推移

人材不足の課題は解消できていないが、生産性向上のため設備の導入や人材育成など職場環境の改善に取り組み始めている事業所も増え始めた。



■丹波市の景況動向



【今期の景況】

取引先によって異なるが、受注状況は、好調に推移している。人手不足解消に向けて、積極的な設備等投資を検討したり、外国人研修生の受入を検討される事業所が増えている。一方、取り扱い製品の需要が減少したり、仕入価格がすべて20%~30%UPになった事業所もある。

【来期の景況予想】

安定した取引を続けていく上で、今なお続く人手不足を補うため人材育成の強化や職場環境改善に取り組み始めた事業所が少しずつではあるが増えている。また、ものづくり補助金等を活用して機械導入し生産性向上に努めている事業所では、今後投資効果が現れると期待している。

■全国の景況動向

お盆休みの生産増強で食品製造業や機械関連製造業を中心に活況を呈した。また、猛暑の影響により、清涼飲料や冷菓商品の売上が伸びた。一方で、豪雨災害による原材料納入の滞りや一部業種では、原材料・原油の高騰により採算や資金繰りへの影響、人手不足が引き続き深刻である。

■県下の景況動向

西日本豪雨や台風の影響で自動車や機械等部品製造で受注の増進傾向が見られたが、原油価格上昇や米国の鉄鋼・アルミ等への関税引上げなどで利益面では下押し作用となるなど海外情勢の影響が出ている。また、運賃が上がり、重量のある材料仕入に苦慮している。

■地区ごとの回答(前年同期比)

地区	柏原	水上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い	3	3	2	1	4	2	15	29.4%
不変	1	7	5	5	7	4	29	56.9%
悪い	2	2	0	1	2	0	7	13.7%
合計	6	12	7	7	13	6	51	100.0%

小売、卸売業

回答率:90.8%(69/76)

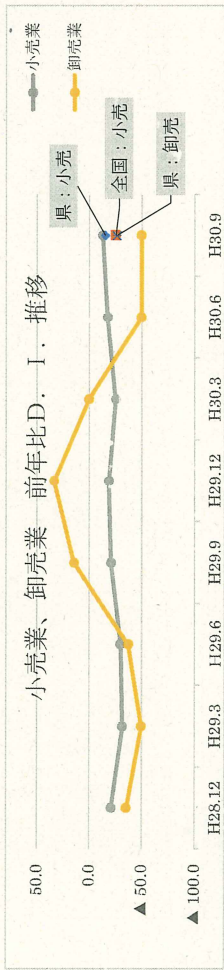


今期 見通し

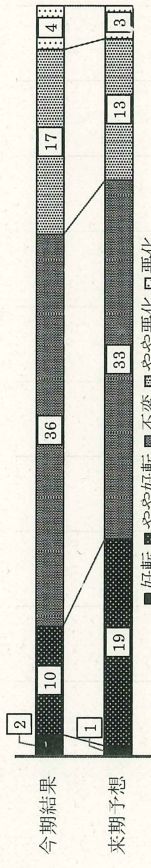


■丹波市の景況推移

暑さによる消費の減少、落ち込み。長雨や台風による影響が顕著に現れたものの、年末に掛けては業績回復に期待感を持つ回答が多かった。



■丹波市の景況動向



【今期の景況】

天候不順が商品の流通に影響し、一部店舗では商品が手元に届かないなど、販売に直接影響が出てしまった。また、入荷しても、販売価格が高騰し買い控えを招いた。更に、猛暑により高齢者を中心に、購買頻度が低下、売上が伸び悩んだ。

【来期の景況予想】

依然として大型店、ネット販売の影響が続くと予想される。他店と差別化を図るためには、お客様が求めているもの、顧客に対するサービスの向上にも努める必要がある。また、消費税増税が現実味を帯び始め、消費税軽減税率への対策を進めている小売店も出てきている。

■全国の景況動向

10月からタバコや一前商品が値上げになることから、業種によっては若干の駆け込み需要が見られた。一方で、小売業においても台風などの天候不順や地震の影響は大きく、野菜や牛乳を中心に商品入荷が遅れ、品薄状態が続き、売上が減少し、停電による商品廃棄も発生して経営を圧迫している。

■県下の景況動向

猛暑の影響によりコンビニ、スーパーなどでは清涼飲料水、冷凍食品を中心に売上げが増加し、惣菜や食肉加工も好調に推移している。一方、西日本豪雨や台風の影響により、百貨店業界では客足が遠のき、衣料品・身の回り品・食料品では減少した。

■地区ごとの回答(前年同期比)

地区	柏原	水上	青理	春日	山南	市島	合計	構成比
良い	3	5	0	2	2	1	13	18.8%
不変	6	15	0	3	4	3	31	44.9%
悪い	4	7	3	5	4	2	25	36.2%
合計	13	27	3	10	10	6	69	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

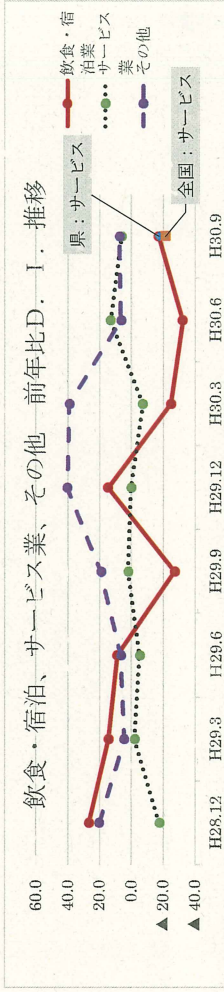
回答率:88.7%(94/106)

今期 見通し

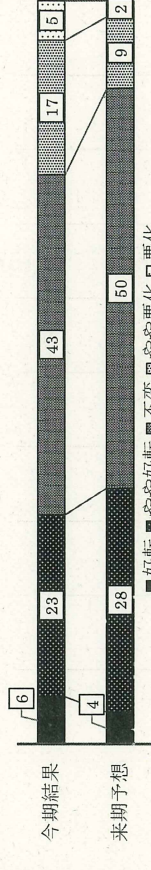


■丹波市の景況推移

猛烈な暑さ、天候不順による外出機会の喪失により、観光関連を中心に売上が減少したが、年末に掛けては期待感を持つ回答が目立った。



■丹波市の景況動向



【今期の景況】

飲食関連では、材料代の高騰のみならず、人材確保のため人件費の増加分を販売価格に転嫁できてない。それに伴い利益が減少している。一方で、自動車整備・運送関連では、天候不順などの影響を受けることなく、取引が活発であった。

【来期の景況予想】

行楽シーズンが到来し来丹者の増加や宿泊客の増加が見込め、飲食業に関しては、増税分の価格転嫁ができるか心配している。また、記録的な猛暑により外出抑制が出るなど人の入りに影響が出た。

■全国の景況動向

猛暑により、地域によって理美容業では来店数の増加。家電設置・修理等のサービス業ではエアコンの設置・修理の依頼が殺到。しかし、台風および地震の影響に加え、停電により食材の廃棄や営業休止状態が続くなど状況は厳しい。また、記録的な猛暑により外出抑制が出るなど人の入りに影響が出た。

■県下の景況動向

飲食業関連では、6月に発生した大阪北部地震以降、豪雨や台風が度々週末にぶつかった影響が大きく、外出抑制が働き、売上にも大きく影響した。特に台風21号の影響により外国人観光客も減少した。一方、宿泊業においては、台風の影響は見られるものの、稼働率は高水準で推移している。

■地区ごとの回答(前年同期比)

地区	柏原	水上	青理	春日	山南	市島	合計	構成比
良い	8	7	4	1	3	1	24	25.5%
不変	11	13	3	5	6	7	45	47.9%
悪い	3	8	2	5	2	5	25	26.6%
合計	22	28	9	11	11	13	94	100.0%